

デジタル探傷器持ち込み講習会に関する注意事項について

(一社) 日本非破壊検査協会
学術部業務課

当協会の講習会をお申込みいただきまして、誠にありがとうございます。2020年度より、デジタル超音波探傷器持ち込み講習会を実施しております。本講習会を受講される方は、下記の注意事項をご確認の上、受講くださいますようお願い申し上げます。

1. 会場で使用できる電源はAC100V（2ピン）である。
バッテリーにて使用する場合には、途中で容量不足とならないように事前に確認をしておくこと。
探傷器の電源ケーブルが3ピンの場合には「3ピン→2ピン変換プラグ」を受講者自身が持参すること。
2. 講習会ではJSNDIが準備する垂直探触子・斜角探触子を使用する。
探触子の接栓は「Lemo（小）ソケット」であるため、適した探触子ケーブルおよび必要に応じて変換コネクタを探傷器と共に受講者自身が持参すること。
3. 習得しておくこと
持ち込み機種が多いため、指導員が全ての装置の取り扱い方法を説明は一切行いませんので、ご了承ください。本講習会では探傷の内容、手順について実施できることが条件です。各受講生は、持参する装置の下記項目についてできるようにお願い致します。また、装置の取り扱いにも十分に慣れていくことも条件になります。
 - ① 探傷器の初期化、海外の装置は日本語への変換（可能であれば）
 - ② 垂直探傷試験 測定範囲の調整、最大エコーの検出及びビーム路程の測定
 - ③ 斜角探傷試験 入射点の測定、測定範囲の調整 200mm、STB 屈折角の測定、JIS Z 3060 に従ったエコー高さ区分線の作成、斜角探傷試験の計算表示方法、JIS Z 3060 に従った探傷（直射法、一回反射法）